

## 日経平均株価

2万0884円71銭

▲110円67銭(前日比)

## TOPIX

1532.39

▲7.48(前日比)

2019

6/10

月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



## サマーストックを狙う

## 暑さ、水不足対策例年より早い？



## 5月は猛暑日の記録を更新した

梅雨入り後の降雨量次第では暑さ対策や水不足対策の動きは例年よりも前倒しで動き始める可能性は高い。暑さ対策や水不足対策で需要が高まるのがミナラルウォーターに関連。近年で

札幌で3日、東京都と名古屋で4日、京都で5日、いずれも5月として30度以上の真夏日が続いた連続日数の記録を更新している。その一方で5月の降水量は平年の10%台にとどまる地域が続

出、福岡市周辺の主要ダム全体では平均貯水率は34.76%(平年83.85%)と水不足への懸念もでてきている。気象庁の向こう3カ月(6~8月)の予報では気温・降水量ともほぼ平年並みの地域が多いものの、(25

## 5月は猛暑日の記録更新

トランプ政権がメキシコへの関税引き上げとインドを一般特惠関税制度の対象から除外することを表明し、中国以外へも強硬姿勢を強めてきた。世界のサプライチェーンの行方に不透明感が増すなかで、物色はリスク回避の動きから輸出系よりも内需が引き続き選好されることになりそう。そのなかで、5月は真夏日の連続日数の記録を更新しており、これが消費動向に微妙に影響を与えている。目的には梅雨入りから夏へ向けたシーズンストック銘柄が注目できそうだ。

は事業向けに加えて一般家庭でも宅配水への需要は高まっており、富士山などの天然水を製造・販売するプレミアムウォーター(25)ホールディングス(26)グーグル(27)なども隠れたサマーストック関連だ。

どのニーズが高まりそうか。加えて気温上昇とともに消費が増えるのが冷菓で、井村屋グループ(2209)や江崎グリコ(2206)、森永乳業(2264)、明治ホールディングス(2269)の存在は見逃せない。加えて、紫外線対策として日焼け止めの化粧品原料に不可欠な微粒子酸化チタンを手掛けるテイカ(4027)も隠れたサマーストック関連だ。

日経平均日足チャート



今週の動意銘柄

ココカラファインS高

スギHDと経営統合協議

週明け3日、ココカラファイン(3098)がストップ高。スギホールディングス(7649)と経営統合に関する検討、協議を開始すると発表した。7月31日をメドに経営統合に関する事項を定めた基本合意書締結を目指す。一方、マツモトキヨシホールディングス(3088)との協議も継続して

はてな増額も出尽くし

3日、はてな(930)がストップ高。19年7月期の業績予想について、

売上高で25億2200万円から25億2400万円(前期比20.7%増)へ、営業利益で3億5400万円から4億4100万円(同38.2%増)へ上方修正したが、材料出尽くしの動き。「はてなブログMedia」の利用者数が想定を上回っている。

資金逃避に電力株

3日、関西電力(9503)が急反発したほか、電力株が軒並み高。業種別上昇率のトップに立った。通商問題拡大でリスクオフの流れが強まるなか、原油安・円高メ리트が意識したデイトレンジャー志向の逃避資金が向かった。

小判大株のいい直正

週末の日経平均は110円高と反発、週間ベースで令和に入って初めてプラスです。上値を追う動きは見られませんが、売り叩かれてきた輸出株の下落に歯止めがかかりつつあり、全般底堅さが意識される展開です。米雇用統計にはじまり、中国貿易収支、米消費者物価など重要経済指標が相次ぎ、Qを控えているため、週末にはSも上値の重い状況が続くでしょう。週明け以降、ただ、下値は買戻しが試すと予想しています。資方針のイボキン(5699)が切り戻し。短期値幅口(2375)や9)、AKIBA(6840)が新値を追い、アルファポリス(9467)も大幅

展開試す戻りが重い上値

高に買われました。引き続き強い銘柄に絞って値幅を狙う考えですが、中小型全般が利益確定に向かうタイミングには注意が必要です。花咲翁



惑思給需はミックリ

4日、リボミック(459)がストップ高。大量保有報告書で投資運用会社ウイズ・パートナーズの保有割合が5月27日時点で20.36%と前回提出時の18.52%から18.4%高まったこと、一段の買い増しなど需給への惑感から買いを集めた。保有株の総数は359万7986株で、保

有目的は純投資。

嫌気出し売インソース

4日、インソース(6200)がストップ高。100万株の売り出しとオーバードットメントによる売り出し15万株を実施すると発表、短期的な需給悪化懸念が台頭した。

回下13%格開公

初値の大英産業

4日、大英産業(2974)が福岡証券取引所に新規上場、公開価格1520円

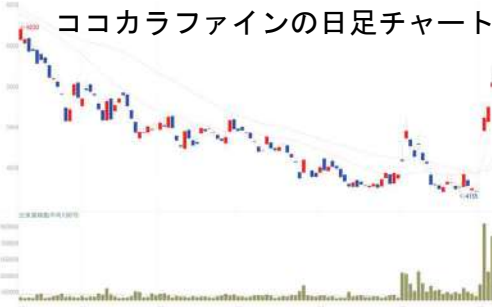
備整備局5G電双

6日、双信電機(6938)がストップ高。楽天(4755)グループの楽天モバイルがNEC(6701)を5G基地局装置の無線機ベンダーとして選定、世界初の完全仮想化クラウドネイティブネットワーク対応5GオーブンvRANを構築

益減大幅HD

6日、アインホールディングス(9627)が急落、年初来安値を更新した。

19年4月期決算は連結営業利益は160億6700万円(前の期比18.1%減)と大幅な減益となったことが嫌気された。ただ、20年4月期は187億%増)と2ケタ増益を見込んでいる。



ココカラファインの日足チャート

### 企業観察 三社電機製作所(6882)

## 中計目標達成へ態勢固め

三社電機製作所(6882)は中期3カ年計画2年目となる20年3月期の連結業績について、売上高260億円(前期比6.7%増)、営業利益19億円(同3.6%増)を予想。中国経済減速や設備投資先送りなど環境の厳しさを織り込み、中計の従来目標を若干下回るものの、増収増益を確保できると見ている。ただ、21年3月期売上高280億円、営業利益25億円の最終目標に変更はなく、今期はラストスパルトに向けた態勢固めに重要な1年となる。大型電源は素材向けを中心に既に受注済の案件もあり好調を継続

## 環境・省エネと高効率化へ対応

収益をけん引する見込み。半導体はSiC(シリコンカーバイド)パワーモジュールの量産でテコ入れする構えで、高機能・高効率が求められる高付加価値分野への提案を強め「海外を含めて本格的に拡大していく」(会社側)。

さらに、ごみ処理向け灰溶融プラズマ電源や個体酸化物形燃料電池など環境保全と省エネニーズに対応する提案で既存事業を強化する。新規事業はSiCに加え、電気自動車向けも視野に入れ、新エネルギー分野を開拓、検査機器やATMなど医療、金融向けには小型カスタム電源を伸ばしていく。

6日、日本通信(9424)が東証1部値上がり率トップに立った。FCC(連邦通信委員会)から、CBRS(周波数免許不要の市民ブロードバンド無線サービス)の商用基地局に関する認可を取得したことを引き続き材料視。商用サービス認可日から2年の時限付きで認めるもので、数カ月のうちに全米で政府の最終承認が

おりた時には、本格的な商用サービスに移行できる。5G関連が再度物色されるなか、値頃感からも人気が集めた。

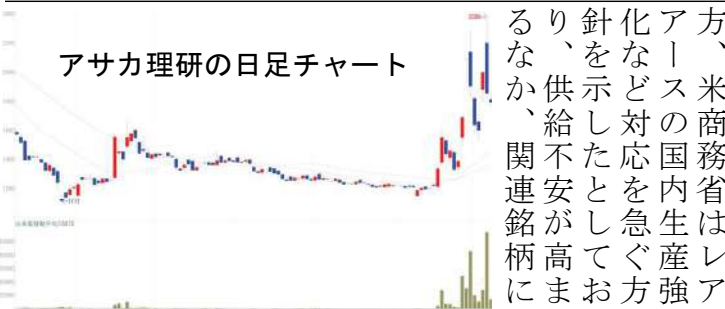
**楽天はJR東と連携**

6日、楽天(4755)が反発。楽天ペイメントとJR東日本(9020)がキャッシュレス化の推進に向けて連携すると発表したことが材料視された。

## レアアース買気再燃

### 中国が新管理システムを検討

6日、アサカ理研(5726)が24)がストップ高、イボキン(5699)も大幅に続伸するなど、レアアースに関連がにぎわった。「中国政府はレアアースで新しい輸出管理システムを設ける方向で検討に入った」と伝わったことが刺激。一



買い気が再燃。大阪チタニウムテクノロジーズ(5726)や東邦チタニウム(5727)も国内大手証券の格上げもあって人気を集めた。

**ソフトバンクG見直す**

6日、ソフトバンクグループ(9984)が続伸。前日の米株市場で出資先の配車サービス大手Uberテクノロジーズ株が買われ、5月10日上場後初めて公開価格を上回ったことを受け、含み益拡大への期待から見直し買いを集めた。

## 2万1000円の壁

先週の東京株式市場は5週間ぶりに反発しました。週初めは下放れてスタートしましたが、19日に一目均衡表の遅行スパンが先行スパンBに到達。その後はスパンBの上昇に沿って切り返す展開となりました。日足ローソク足では6月3日~4日の両サイドに窓が空くアイランドリバーサル形状となり、週末には一目均衡表・転換線を回復してきました。

ひとまず大台割れは回避された形ですが、問題は2万1000円の壁をクリアできるのかどうかです。3月11日、25日、28日、そして5月14日、24日と5回終値で2万1000円を守るように押し目買いが入ったポイントの位置です。今回の下落でそのサポートラインを切ってしまったということは、今までのサポートラインが変わったことを意味します。戻り売りの急所と言えます。



日々勇太郎

転ばぬ先のテクニカル

日本通信値上がりトップ

# サニサイド上昇トップ

## 1対2株式分割に優待拡充も

週末7日、サニサイドアップ(2180)が東証1部値上がり率トップ。7月10日付で1対2の株式分割を行うと発表されたことが材料視された。併せて20年6月末から食事を提供する優待券を贈呈する株主優待制

### ラウンドワン尽くし

7日、ラウンドワン(4680)が急落。5月の既存店総売上は前年比で7.6%増となったが、材料出尽くしの動き。GWの日数が2日多

### 日立ハイ完全子会社化

7日、日立ハイテクノロジーズ(8036)がストップ高。日立製作所(6501)が同社を完全子会社化する方向で検討に入ったと伝わったことで買いが殺到した。会社側は否定している。

## 今週の動意銘柄

# 野菜摂取を“見える化”

## キリン堂HD

### 「ベジメータ」日本第1号機

キリン堂ホールディングス(3194)の中核子会社であるキリン堂は5月30日、野菜摂取状況を数値で評価する装置「ベジメータ」の日本第1号機を、同装置の開発者で、米国Longevity WporkationのFounder, CEO Wernner Gelermann博士立会いのもと、総代理店であるキリン堂は、店頭での「健康フェア」で「ベジメータ」の活用を予定している。

## 企業レター

# 6月22日(土) 第2回 株式セミナー in 大阪

主催：(株)証券市場新聞社 申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jp まで！

2019年6月22日(土)14:00~17:00 受付・開場13:00 参加料:無料 定員:50名

## 大化け特選3銘柄を教えます！

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇



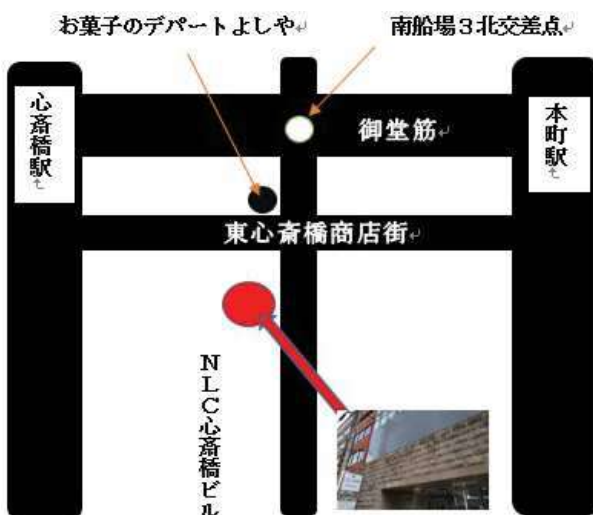
岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。マーケットバンク設立以降、17年以上にわたり安定した高パフォーマンスを継続する画期的運用手法とサービスを提供。

### コラム「転ばぬ先のテクニカル」でお馴染み日々勇太郎さんも登壇

田島直人氏 国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリスト、高木証券で個人投資家向け資産アドバイザーを経て、19年4月に独立系ファイナンシャルアドバイザー、大阪証券仲介(株)を立ち上げ移籍。

- 第1部 14:00~14:50 「転ばぬ先のテクニカル」日々勇太郎こと田島直人さんによるテクニカル解説
- 第2部 15:00~16:30 「大阪サミットで相場が大転換」~サミット後に大幅高となる銘柄~ 岡山憲史さんによる株式講演会

会場：NLC心齋橋ビル 7階セミナールーム  
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27



\*先着40名様にマーケットバンク発行のカレント経済ノート「主要経済指標」2019年版(定価1,000円)をプレゼント!

# 拡大戦略へ成長基盤固める

## 銘柄探究



記者の目で企業実態を解析



ハリマ化成Gの連結業績推移 単位：100万円

決算期	売上高	営業利益	純利益
17/3	71,384	3,975	2,421
18/3	73,310	4,010	2,725
19/3	78,589	4,667	4,131
20/3(予)	83,000	4,700	3,300

## 体質強化と新市場開拓

ハリマ化成グループ(4410)は事業環境が不透明で慎重に見積もったものの、20年3月期も営業増益を見込んだ。新中期計画の初年度で、積極的な拡大戦略を進めるうえで成長基盤を固める重要な1年となるが、その内容を検証した。

9年3月期は計画を上振れ、16%超の営業増益で着地した。ここで発射台が高く、米中通商問題や中国経済の減速などをり込み、保守的に見積もった。ただ、

### ハリマ化成G (4410)

20年3月期は連結売上高830億円(前期比5.6%増)、営業利益47億円(同0.7%増)を予想。19年3月期は計画を上振れ、16%超の営業増益で着地した。ここで発射台が高く、米中通商問題や中国経済の減速などをり込み、保守的に見積もった。ただ、

持分法会社化したサンパイン社(スウェーデン)が好調維持、中国山東省の新製紙工場も立ち上がり、期初計画は上積みが可能だ。

サンパインはロジンを年間2万トン生産し、全量をロータリー社に供給しており、欧州を中心にロータリー社はロジン関連製品の拡販を優位に進めている。新製紙工場は中国の環境規制強化を背景に立ち上がりから順調で

## 今3月期慎重も増益見込む

も拡大させる。前期の大幅増配に続き年間配当を38円(前期36円)へ

連続増配を予定することにも計画達成への自信がうかがえる。

新中期3カ年計画では最終年度の22年3月期に連結売上高1000億円、営業利益70億円を目標に掲げた。19年3月期実績比で売上高は27%増、営業利益50%増となり、積極的な拡大戦略を進めることにな

るが、基盤事業の体質強化と未開拓市場への挑戦、成長市場のニーズに応える新製品実績化、安全で環境負荷の少ないものづくりなどを重点施策とした。

基盤事業の体質強化について、グループ内原料調達率が60%以上を達成したが、サンパインは20年をメドにトルロジンの50%増産に動いており、競争力強化でロジン関連製品のマーケットシェアがさらに拡大する見込み。植物由来の松やにを基盤原料とするエコロジー性と乳

化分散、界面制御などの基幹技術を融合、新規用途開拓にも力を入れており、導電性ペーパーストやUV硬化型機能性ナノ粒子分散液、表面親水コーティングなどへの期待も強い。

ROEは8%に達したが、中計ではさらに10%に高める方針で、増配、自社株買を含めた株主還元も強化の方向だ。

「ほぼフル稼働になっている」としており、年間売上高で10億円、営業利益で1億円の貢献を見込む。さらに、北米で紙力増強剤の販売を強化し、高付加価値化するテレピン油の生産

# チャートから読む 騰落銘柄

## データHR (3628)



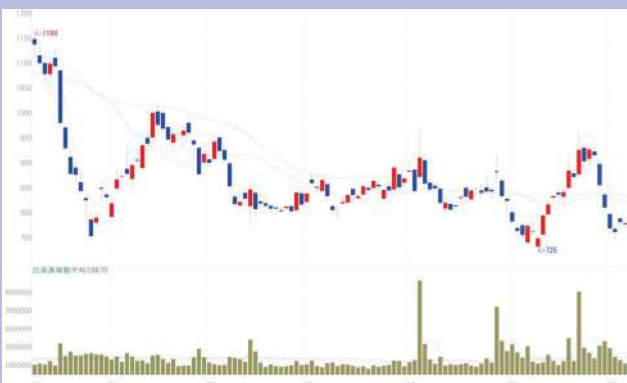
5月17日に1587円まで突っ込んだ後2300円まで急伸、1900～1800円のもみ合いゾーンを抜ける。20年6月期はデータヘルス計画支援の回復が期待され昨年11月高値2480円突破に期待。

## スリープロG (2375)



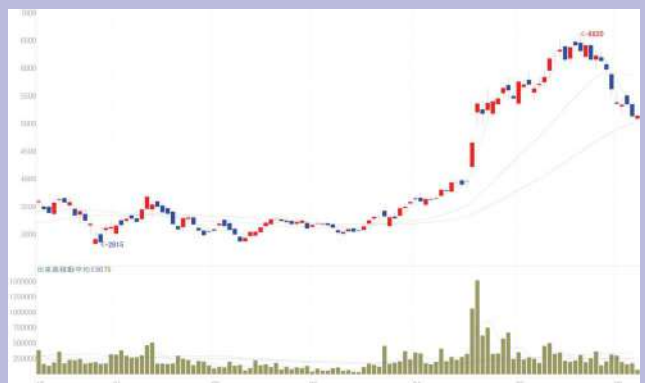
5月29日に長い下ヒゲ陽線を引いた後、一呼吸入れて新値更新。業績変化率の高さに加え、株価上昇過程で信用買い残の整理が進むなど需給も良好で、3年にわたる800～1200円のボックス相場上放れへ。

## KLab (3656)



5月24日に960円まで戻したのちに再び急落。427万株超の買い残も重石で5月14日の安値725円を下回れば2016年の安値ゾーンである650円割れもありそう。既存タイトルの苦戦も懸念。

## RPAHD (6572)



5月22日付けた実質最高値6620円で当面の天井感。ほぼ一本調子の下げで、25日線を割り込む。日足デッドクロス後も下げ止まる様子はなく、4月17日にあけたマド埋めで4600円近辺への下落も。

※チャートは日足

## 潮流

# 日米でレアアース開発を エネルギー自給自足で国力高めろ



中国は電気自動車（EV）の部材で不可欠なレアアース（希土類）に新しい輸出管理システム

が大きくアップしている。これが「シェール革命」と言われる所以だ。

今後、米国が本格的にレアアースの開発に力を入れることは間違いない。日本はこれを大チャンスと捉えてエネルギー開発を本格的

に進めなければならない。日本を取り巻く海底には豊富な資源が眠っている。南鳥島付近の海底で1600万トン規模のレアアースが発見された。また、天然ガスの主成分が含まれている「メタンハイドレード」も日本近海で100年分以上の埋蔵量が確認されている。米シェールガスが実用化されるまで数十年かかっている。最初はコストが高くても生産量が増加していけばコストは大幅に下がる。日本は米国と共同で掘削技術を確認させ、実用化にこぎつきたい。そのために政府はエネルギー開発費の予算を大幅に増加させ、実用化に向けてスピードを速めることが重要だ。何十年かかろうともエネルギーを自給自足させることができれば日本の国力は相当高まるだろう。それが日本の国益となる。

潮流銘柄はエイトレッド（3969）、データHR（3628）、アバント（3836）。



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

を設けるようだ。

米中貿易戦争が激化するなか、米側に揺さぶりをかける狙いだ。一方、米商務省はレアアースの国内生産強化など対応を急ぐ方針を示した。米国は重要鉱物を輸入に大きく依存しているため、もし中国やロシアが米国や同盟国への輸出を長期間止めれば、重要鉱物のサプライチェーン（供給網）に深刻な打撃を与える。ロス商務長官は「米国が重要鉱物から遮断されないようにするため連邦政府は前例のない行動を取る」と述べた。米国は代替品の開発や調達先の分散で日本など同盟国と協力して中国に対抗する。

米国は2006年からシェールオイル・シェールガスの開発を本格的に進め、今では天然ガス・産油生産量は共に世界一になった。シェールガスの増産は大量のエネルギーを消費する米重工業の多大な競争優位をもたらしている。石油化学産業のエチレンの製造は従来、原油の精製過程で得られるナフサが使用されてきたが、シェールガスに含まれるエタンを活用することで、原料の大幅なコストダウンが可能となった。こうして製造される石油精製製品も国際競争力



日本近海には豊富な資源

# 利益確定し調整待ち

## 高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



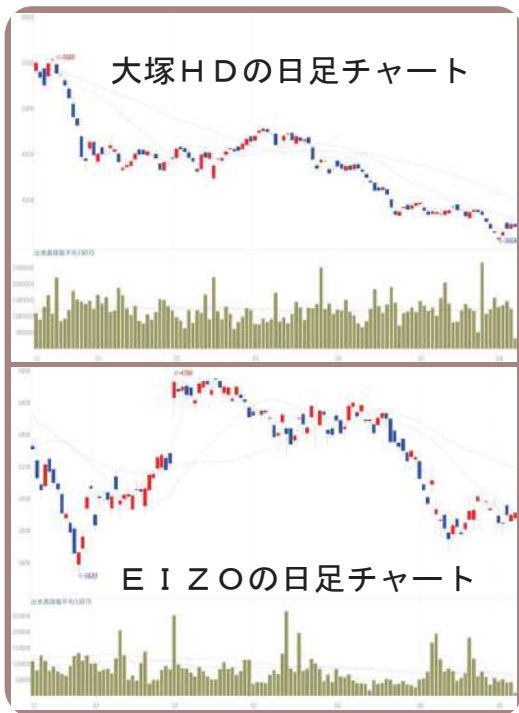
高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

先週、この欄で「月初めには期待できる動きになりそう」と書きましたが、6月1週目は予想通りの動きとなりました。米国で利下げ観測が出始めたこと、好感した急反騰をみせたことを素直に好感して全面高となり、日経平均も5日に2万700円台まで一気に戻りました。米国株式の底割れ懸念が後退し、ドル107円、80銭台を付けていた円相場も108円台に戻しており、2万1000円台まで短期的に戻す場面もあると思えます。筆者の注目

大塚HDとEIZOに期待

銘柄もいい展開となっておりました。以前推奨していましたが、自研所(ACSL、6232)は赤字体質から今期黒字転換を好感して買われ始めたとし、ドロイン唯一の上場企業として更に上値の可能性が高いと指摘しましたが期待通り、5000円台に乗せてきました。もう一段高場面で利益確定もいいのではないかとみていますが、持続でもないかとみています。

大紀アルミニウム工業所(5702)も700円台に乗せてきました。この欄でお勧めした銘柄は全部利益確定ゾーンに入っているようです。日経平均は2万1000円台をとりあえずみて再び調整するものとみています。その意味で手持ちの銘柄で利益確定できるものはありがたく利益を出して、次の調整局面を待つて買い出動することが望ましいとみています。まだ、反発に至っていない銘柄としては大塚ホールディングス(4578)、EIZO(6737)も上値を追うものとみています。アンジェス(4563)がもたついていません。なんとか680円台はキープしています。が、目先的には700円台を回復してほしいものです。重症虚血肢を対象としたHGF遺伝子治療用製品の発売延期がありました。悪い材料は何もありません。発売時期を次は明確にすることや米国での製造申請などの材料待ちとなりますので、中期視野では次第に上値をとってくるとみています。



高野恭壽公式ホームページ  
高野恭壽の株式市場情報  
これでどや!!  
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>  
毎日情報を配信中!



# 星野三太郎の株街往来

## ～歪な相場が続く～

対中交渉が泥



おそろく株価の暴落は大統領が望むものではないから、ポジティブなツイートで急速に戻す場面があるかも知れないが、指数が乱高下することはナイトセッションも自由に売買できる海外ヘッジファンドの思う壺。日経平均8100円台、1ドル75円の円高を付けていた2011年の円高不況の時には、日経平均5000円とか為替が50円台になると予想していた評論家があったのを覚えている。

当時より世界の政治経済情勢は複雑化しており、予測はより困難になっているが、日々流れるニュースやツイートに一喜一憂することなく、その企業の経営力と株価の位置を冷静に判断して行動したい。ただ、こういう歪な相場が続くと投資自体に嫌気がさしてしまいう方も増える。政策当局者には真の市場改革をお願いしたい。



# 企業レター

## JALとUSJ

# 大阪国際空港で記念式典 「JAL ミニオンジェット2」国内線に就航

日本航空（JAL・9201）とユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに登場した世界最大のミニオン

「JAL ミニオンジェット」に、JALが協賛してから3年目を迎えることを記念して、5月31日から特別塗装機



ミニオンジェット機内の様子  
アン・エリック・パ  
ン・ハチヤメチャ・ライド」の大人気キャラクターのミニオンたちが描かれた特別塗装機。5月31日、大阪（伊丹）14時20分発新潟行きを初号便として運航を開始し、今後は大阪（伊丹）発着路線を中心に運航。搭乗の顧客には搭乗ゲートで搭乗証明書シールをプレゼントしている。



大阪整備格納庫内での就航式典

「ト2」国内線に就航。同日、大阪国際空港（伊丹）の日本航空大阪整備格納庫内で10時から行われた就航式典には「ミニオン・パーク」から駆けつけたミニオンたちが、この記念すべき日を、ハチヤメチャ・に祝った。

登壇したJALの執行役員西日本地区支配人・中野星子氏は、「JAL ミニオンジェット2」は、本日、伊丹から新潟へと初就航し、北海道・東北・九州を駆け巡りますので、ぜひご注目ください。飛行機も喜んでくれると思います」と挨拶した。

この「JAL ミニオンジェット2」は「ミニオン・パーク」と、「ミニオン・ハチヤメチャ・ライド」のミニオンたちの様子が、ユーモアたっぷりに描かれた特別塗装機。5月31日、大阪（伊丹）14時20分発新潟行きを初号便として運航を開始し、今後は大阪（伊丹）発着路線を中心に運航。搭乗の顧客には搭乗ゲートで搭乗証明書シールをプレゼントしている。

# 敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

## 戻りをためず展開

### アイランドリバーサル発生

先週の日経平均はトランプ氏の「メキシコからの輸入品にも関税をかける」との発言で週初安値を試す動きとなった。しかし、水曜日にFRBが今月18日、19日の金融政策会合で「予防的利下げを視野に入れた」と伝わりと流れが変わり、先物中心に買戻しで値を戻した。

しかし、先週2万0464円57銭円、2万0581円58銭で窓が開き「アイランドリバーサル」の状態となっている。これは安値圏で発生すると相場の転機といわれるシグナルで、この状態で今週は戻りを試す展開となろう。

一方、下値は一目均衡表の転換線（2万0793円処）、上昇に転じた5日線（2万0650円処）、窓埋めの2万0464円57銭、安値2万0289円64銭が上げられよう。

上値の抵抗ラインはボリンジャーバンドの中央値（2万1006円処）、今回の下落幅の38・2%戻し（2万1080円）、25日移動平均線（2万1146円）が

今週はメジャーSQ週であるが、3月SQ値と大きな差がなく、波乱なくロールオーバーされると思われる。

（ハチロク）

各国が利下げを検討する中、日銀の打つ手は乏しく円高が進み日経平均の戻りは鈍い。チャートの戻り月24日の高値（2万2362円92銭）から6月6日の安値（2万0289円61銭円）は下落幅2073円28銭で、12月26日からの上昇幅（3414円34銭）の約61%と黄金分割比率の62・8%（日経平均値2万0218円）を割っていないので、上昇トレンドは完全には崩れていない。ただ、上値は重たそうである。

上げられよう。円高が戻り、上値は重たそうである。

### 今週のスケジュール

- 7日 米5月雇用統計(21:30)
- 8日 G20財務大臣・中央銀行総裁会  
見(~9日福岡)  
G20貿易・デジタル経済大臣会  
合(~9日茨城)
- 10日 1-3月期GDP改定値(8:50)  
5月景気ウォッチャー調査  
中国5郷駅収支  
米政府はメキシコからの全輸  
入品に5%の追加関税を実施  
休場:豪、独
- 11日 5月マネーストック(8:50)  
5月工作機械受注(15:00)  
米5月生産者物価(21:30)
- 12日 5月国内企業物価指数、4月機  
械受注(8:50)  
中国5月消費者物価、中国5月  
生産者物価(10:30)  
米5月消費者物価(21:30)
- 13日 4-6月期法人企業景気予測調査  
(8:50)  
5月都心オフィス空室率(11:00)  
4月第三次産業活動指数(13:30)
- 14日 メジャーSQ算出日  
中国5月都市部固定資産投資、  
中国5月鉱工業生産、中国5月  
小売売上高(11:00)  
米5月小売売上高(21:30)

の辺りで戻り売りもでてくると思われる。抜けてくると下げ幅の50%戻しの2万1326円（3月SQ値2万1348円40銭）を目指す展開も期待できよう。

### 編集後記

週末7日、関東甲信、東海、北陸、東北南部が一斉に梅雨入りした。ジメジメして温度も上がり、過ごしにくい季節になるが、一方で旨い旬の魚が増えてくる。この時期、筆者が最も楽しめるのさしみとアナゴの薄づくり、脂ののったイワシと淡泊で歯ごたえのあるアナゴの食感がたまらない。

一方、東京市場は外需セクターの下落に歯止めがかり、週足ベースの日経平均が令和になって初めてプラスになった。季節の移ろいととも、物色対象の変化にも注意しておきたい。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。